



～ ゾヤ・スコロパデンコ

“コーヒードリinkerとミルク”

個展案内

■会場/ Venue■

銀座「Art for Thought」

(中央区銀座 8-10-4 和孝銀座8丁目ビル 1 階 Tel: 03-6228-5922)

Art for Thought, Ginza, Tokyo

(1FL, 8-10-4 Ginza, Chuo-ku, Tokyo Tel: 03-6228-5922)

Map: http://artforthought.jp/?page_id=257

■企画/ Organized by■

* Art for Thought : <http://artforthought.jp/>

* Art Alliance : <http://www.artalliance.jp/>

ウクライナ出身、モナコ在住、パリやロンドンで活躍中のゾヤ・スコロパデンコ(Zoia Skoropadenko)が銀座 Art for Thought で個展を開催いたします。在日ウクライナ大使館で2回の個展を経て、今回は3度目の東京展となります。東北の被災地支援のプロジェクトにも積極的に参加されている親日派アーティストの新しいシリーズをお届けいたします。

11 月 13 日(日)16 時～からのオープニングには本人も来日、会期中の作品販売もございます。オープニングでは直接作品に込めた思いなどを語っていただきます。ぜひお越しください！
(詳しい経歴はスクロールダウンして下さい)

■会期とオープニング/ Opening■

* オープニング 2016 年 11 月 13 日(日)16:00～18:00

* 会期＝11 月 14 日(月)～11 月 26 日(土)

Café/11:00 – 18:00 / Dinner 18:00 – 23:00 (最終日は 20 時まで)

*** Opening Nov 13 (Sat), 2016 / 16:00 – 18:00

*** Duration Nov 14 – Nov 26 (open from 11:00 – 23:00)

* オープニングご参加予定の方は、Facebook のイベントページに参加表明していただけますと、助かります。(アカウントをお持ちではない方はそのままお越し下さい)

□シリーズ “Coffee Drinkers and Milk”について

* * * Coffee Drinkers * * *

ヨーロッパで絶賛を受けたゾヤ・スコロパデンコの“Coffee Drinkers and Milk”が日本にやってきます！
”Coffee Drinkers”はカフェ文化を表したリノリウム版画であり、18 世紀の古典的なポートレートを再考し、それにフランス・ベーコンのエネルギーを融合させた作品シリーズとなります。

シリーズの元々のインスピレーションは、ゾヤがパリのオルセー美術館でコピストをしていた時のもの。絵画のセッション後、彼女は美術館を歩き回り、名人たちの絵画を観察しました。その中には、世界的に有名な画家、ドガ、マネ、ピカソとトゥールーズ・ロートレックがアブサンを飲む人々を描いた絵画がありました。アブサンは決して無難な飲み物ではなかったことを、絵画は表していました。しかし、コーヒーが現在そうであるように、アブサンもパリの日常に欠かせない需要のある飲み物だったのです。

ゾヤ曰く、「コーヒーとアブサンとカフェ生活の違いは、ホガースの Beer Street and Gin Alley の版画と同じくらいははっきりしていました。アブサンは“退廃”という否定的なメタファーでした。そして、それとは、対照的なポジティブなカフェ・ライフのアイディアは私をワクワクさせました。このシリーズで私は現代の飲み物とそれを楽しむ人々を描いています。」

「“コーヒー”を選んだのは、誰もが知っている飲み物で無限のユニークさを持っているからです。コーラや有名なビールと違い、2 杯のコーヒーは決して同じではありません。コーヒーはアンニユイや眠気だけではなく、平凡な日々に対する特效薬でもあります。ですので、アブサンを飲んでいうような顔をした人々ではなく、コーヒーを楽しみながら、微笑んでいるような人たちを私は描きます。」

「私は、パリ、モナコ、ロンドン、ニューポートビーチ、または東京など、世界のどこにしようと、地元のカフェで朝のコーヒーを飲んでスケッチをすることを楽しんでいます。「Coffee Drinkers」は、友人、家族、アーティスト仲間と私が世界中でその時々に出会う人々のポートレートです。」

* * * Milk * * *

”Milk”はミルクとお気に入りの景色をキャンバスに描いた油彩画のシリーズです。

「私は”Milk”を 5 年前に作りました。Frieze と FIAC アートフェアを訪れた後、自宅に戻ってからです。今日のアート・シーン、アートマーケットは、アートが何か暗い、怖い、悲観的な傾向にあります。そのため、私はこの状況について深く考え、上記のすべてにおける反対のことを考え付きました。

男性的な暗色、怖い、悲観的な創作物とは反対の題材について考え、軽く、優しく、楽観的で、女性的で魅力的なものは、私たちが”Milk”と呼ぶ液体だと気づきました。

ルーブルや他の美術館でみられる巨匠達の、ミルク瓶が描かれているあらゆる絵画は、その絵と環境を心地がよい、明るい状況にし、温かい気持ちを引き起こします。

私は静物を描くことが大好きで、それを得意としていましたが、古典的な静物を描きたくはありませんでした。小さなキャンバスのモノクロームの油彩画は、ペインティングされているというよりは、彫られている感じになっています。ですので、レリーフの部分が明かりの中で輝きます。

それぞれの絵は、三原色のうちの一色を取り上げています。青、赤、黄色のいずれかです。青は冷たい Milk、赤(この場合ピンク)は牛からの新鮮な Milk、黄色はホット Milk。すべての絵に Milk が入ったグラスかボトル、またはほかのガラス容器を描いています。

プロジェクトの後半では、私の大好きな景色と人々を背景に組み込みました。私は朝のコーヒーを飲んでいる時と旅をしている間、毎日スケッチと描画します。そのため、自分のプロジェクトで使うたくさんのスケッチがあります。」

現在の Milk では、ゾヤがよく行く、ドバイの高層ビルブルジュ・ハリファやパリのカフェ、モナコの港、カリフォルニアのヤシの木の下での Milk、あるいは、ゾヤの子供時代の思い出の窓とテーブルを見つけることもできます。

編集者への注記

場所	銀座「Art for Thought」 (中央区銀座 8-10-4 和孝銀座 8 丁目ビル 1 階 Tel: 03-6228-5922)
営業時間 で)	Café/11:00 – 18:00 / Dinner 18:00 – 23:00 (最終日は 20 時まで)
入場	入場無料
Twitter	@Zoiaskoropadenk, #MILK #CoffeeDrinkers #ArtForThought
Instagram	zoiaskoropadenko #MILK #CoffeeDrinkers #ArtForThought
Facebook	zoiaskoropadenko
Website	www.zoiaskoropadenko.com http://artforthought.jp/ http://www.artalliance.jp/

ゾヤ・スコロパデンコ Biography

ゾヤ・スコロパデンコは、1978 年にウクライナで生まれました。当時のウクライナではアーティストになる教育を受けるには多大な費用を必要としたため、彼女は自分の夢をかなえるために、大変厳しい生活を送っていましたが、しばらくしてモナコでの仕事を見つけ、母国を後にします。

移り住んだモナコでは、MAMAC(ニース現代美術館)のアートスタジオに参加し、その後、モナコ国立芸術委員会のメンバーとして認められました。新たな地で夢を追い続ける生活を送っていた 2008 年のある日、地元の漁師から、お昼ご飯にでも、とタコをもらったことがきっかけで、代表作である「TORSOS(トルソ)」シリーズが誕生しました。その 4 年後にはロンドンでの初個展を開き、その独創的な作品がアート雑誌などに取り上げられ、彼女の作品は世に知られるようになりました。

2009 年にゾヤは「La Vitrine(ショーウィンドー)」と名付けたコンテンポラリーアートの展示スペースを、モナコにオープンさせます。そして、2014 年 9 月にその「La Vitrine」はニューヨークのタイムズスクエア

の大画面にも映し出され、世界の中でも最も小さい国にある、独立系コンテンポラリーアートスペースが 5 周年を迎えたと紹介されました。

ゾヤは、マルセイユ・アートコンクールの国際アートサロンにおいて、ウクライナ国代表を 3 年間努め、また、2011 年には、フランス・ストラスブールの欧州議会にて開催されたウクライナ印象派主義展のキュレーターを務めました。また、同年には、モナコ政府より政府公認画家としての認定も受けます。

2013 年には、ストラスブールの欧州評議会にて、ウクライナの後援で彼女のキャリアで最も規模の大きい個展を開催しました。現在では、イギリス、フランス、中国、日本、アメリカなど、世界各国で定期的に作品を展示しており、今回日本では 3 回目の個展となります。2015 年の 1~2 月にロンドン及びパリにて開催された二つの展覧会は、BBC ワールド及び、France 2 などのメディアに取り上げられ、インタビューを受けました。

また、ゾヤは東北の被災地支援のプロジェクトにも積極的にかかわっています。アーティスト志望の被災地の子供たちを支援する日本の NPO のプロジェクトに参画し、モナコ側事務局として、子供たちの王宮への表敬訪問や現地の著名アーティストのアトリエ訪問などをアレンジしました。

ゾヤは実用品のデザインも手掛けており、彼女の作品は世界中で販売されています。
(Website: <http://www.zoiaskoropadenko.com/>)

すべてのお問い合わせは、高解像度の画像や詳細情報:

宮本由紀, 株式会社アート・アライアンス代表

E: yukimiyamoto777@hotmail.co.jp, M: +8190-6508-4551

W: www.zoiaskoropadenko.com , <http://www.artalliance.jp/>